

●安曇野からチームを応援 VC長野とパートナー協定を締結

市は1月20日、ANCアリーナでバレーボール国内トップリーグのV1男子に所属するVC長野トライデントとホームタウンパートナー協定を締結し調印式を行いました。

この協定締結により、リーグ戦やバレーボール教室の開催などトップアスリートの高い技術に触れる機会を充実させていきます。

調印式後には、ANCアリーナ完成後のホームゲーム以来、約2年ぶ



協定書を掲げる大矢社長(右)と太田市長(左)

りにリーグ戦が行われました。

試合は、公募で選ばれた小中学生の始球式でスタート。穂高キッズの小穴哲平さんら3人は見事にサーブを成功させ、「大人用のコートで緊張したけれど、100割の力を出せた。狙いのところにはいかなかったけれど、プロの試合前にプレーできたことがうれしい」と話してくれました。

●準中型免許取得を支援へ 消防団の充実強化に向けて答申



答申書を太田市長に手渡す寺畑委員長

安曇野市消防委員会(寺畑佳司委員長)は1月25日、令和4年7月に市から諮問を受け審議してきた内容をまとめた答申書を太田市長に手渡しました。

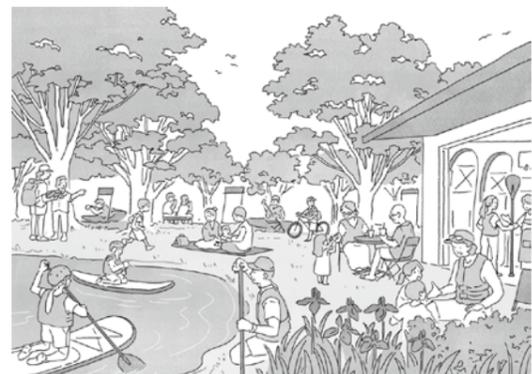
消防団組織の充実強化に向けた答申書には、車両重量3.5ト以上の準中型自動車となる消防団車両の運転に必要な免許取得の支援などを盛り込みました。普通自動車免許のみで準中型を運転できない団員は全団員の約4割ですが、今後はさらに増えることが予想されています。

このほかに、正副団長5人体制から3人体制への移行、各分団の隣接地域への火災出動、団員家族への功労報奨金の導入なども要望。これらは、効果や状況を踏まえて慎重な検討が必要としています。

寺畑委員長は「取得の補助制度により新入団員勧誘時のメリットになる」と呼びかけ、太田市長は「補助制度は、令和6年度新年度予算に盛り込む方針。補助の要件を整備して進めていきたい」と応じました。

アウトドア拠点通信 vol.6 ~安曇野市東部アウトドア拠点整備基本構想の策定に向けて~ 基本構想(案)へのパブリックコメントを実施しました

圃政策経営課 Tel 71-2401



▲基本構想コンセプトイメージ

▲拠点におけるにぎわいのイメージ

市は「東部アウトドア拠点整備基本構想」の案をまとめ、パブリックコメントを12月25日から30日間実施しました。その結果、22件(個人20件、団体2件)、74項目の意見が寄せられました。

主な意見としては、拠点の機能やデザインに関する要望のほか、拠点整備と合わせたソフト事業の充実を望む声、まちなかへの賑わい創出、里山への誘客強化やトイレ等の環境整備に関する要望などが寄せられました。

また、市は2月6日、第5回目となる策定委員会を開き、パブリックコメントの結果を報告するとともに、寄せられた意見を受け修正した基本構想(案)を提案しました。基本構想は、今回の意見を踏まえ3月末までに策定する予定です。

寄せられたパブリックコメントの内容や各意見への市の回答は、右記2次元コードからご覧ください。



地域おこし協力隊活動報告会

魅力ある街 安曇野 ~私達の挑戦~

現在活動中の4人の地域おこし協力隊の活動内容を展示で紹介し、天蚕や自然保育のワークショップも同時開催します。

日3月20日(水・祝)
場穂高交流学習センター「みらい」
展示ギャラリー
費無料
用不要
圃政策経営課
Tel 71-2401

ミッションは「明科地域での活動体験を通じた交流人口の増加」

1月に新たな地域おこし協力隊が着任

どうして地域おこし協力隊に？

人と関わることが好きで、前職では顧客に直接会いに行き、話を聞いて不満や困り事の解決方法を考えるという仕事をしていました。海外赴任後最初の旅行先が安曇野で、自然の豊かさに

ひかれました。これまでの経験を活かし、地域の課題を聞き、解決策を考えるといった仕事をしたと考えていたとき、安曇野市の地域おこし協力隊の募集を見つけ、すぐに応募しました。

安曇野市でやりたいことは？

明科地域に人が集うゲストハウスを作りたいです。自分自身旅行が好きで、国内外さまざまな所を訪れているうちにゲストハウスに興味を持ちました。明科地域は「北アルプスの眺め

が素晴らしい」という強みがあります。まだ着任して1カ月ですが、熱い思いを持つ人たくさん出会いました。そんな地域の皆さんと一緒に明科の強みを生かして盛り上げたいです。

安曇野から日本を元気に！



瀬戸 康弘さん(36)

横浜市から移住。バイク整備士→自衛隊の車両整備担当→青年海外協力隊としてアフリカ・タンザニアで自動車整備講師→自動車会社の海外マーケティング担当という異色の経歴の持ち主。

4種のチラシでレシピ公開 プロの味をお弁当で気軽に



市では、このほど安曇野調理師会と連携し、安曇野産食材を使ったお弁当の「おかずレシピ」を作成しました。レシピは、13人の料理人がリンゴ、セロリ、シメジ、玉ネギを使った計16種類を考案。チラシには、ご当地グルメの「りんごナポリタン」や「シメジと玉ネギのフリッタータ」といった本格的なプロの味を家庭で楽しめるメニューを掲載しています。

この取り組みは、JA あづみなどと連携し

てお弁当の日に各校へ安曇野産の農産物を食材として提供することで「参考になるレシピが欲しい」という要望があった学校へ配布しました。

チラシは農政課、図書館(一部)で入手できます。また市HP(上記左)でもご覧いただけます。市公式YouTube(上記右)では食材を提供した農家のインタビューと食材ごとのポイント、地産地消への思いを公開しています。

